



市長選挙などでの若者世代の投票率向上をめざして 市内の大学と連携したPRや期日前投票 ポスター掲示場にQRコードを掲載しスマホで選挙公報にアクセス

①新有権者にメッセージカードを送付（市長選挙では初）

大阪音楽大学（庄内幸町）と共同制作したメッセージカードを新有権者に送る（平成 28 年（2016 年）の参議院議員選挙から実施）

②阪大キャンパス内に期日前投票所を設置（市長選挙では初）

大阪大学豊中キャンパス（待兼山町）に期日前投票所を引き続き設置します（平成 27 年の統一地方選挙から設置）

③公営ポスター掲示場にスマートフォンなどから選挙公報などを閲覧できる QR コード（※）を掲示（市長選挙では初）

④選挙公報と模擬投票用紙を希望する高校等に配布（18 歳以上に選挙権引き下げ後の選挙で初）

豊中市は、4 月 22 日（日）に投開票が行われる「豊中市長選挙」及び「大阪府議会議員補欠選挙」において、選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられて初めての本市長などの選挙であることから、特に若者の有権者に選挙への関心を高めてもらおうと、次のとおり、さまざまな PR などの取り組みを行います。

※QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

各取組みの詳細

1. 新有権者宛にメッセージカードを送付

新有権者（昨年の衆議院議員総選挙後に 18 歳になった人）を対象に、新有権者になったことを祝う「メッセージカード」を送付します。平成 28 年の参議院議員選挙に引き続き、大阪音楽大学と共同で制作。カードには、同大学の「ザ・カレッジ・オペラハウス」前で楽器を演奏する様子が春らしいイラストで描かれ、QR コードを読み込むと、動画で同大学生が投票を呼び掛けた後、オーケストラの演奏が流れます。



◆対象：平成 11 年 10 月 24 日～平成 12 年 4 月 23 日生まれ

◆人数：約 1,900 人





2. 大阪大学の期日前投票所の設置

- ◆日時：4月18日（水）・19日（木）の正午～午後7時
- ◆場所：大阪大学会館1階スタジオ（同大学豊中キャンパス内。豊中市待兼山町1-13）
※学生以外の有権者も投票できるほか、「不在者投票」も受け付けます。（他市の有権者も事前に取り寄せた投票用紙などを持参すれば投票可）
- ◆その他：投票管理者および立会人は同大学生などが従事する予定

3. 公営ポスター掲示場に「QRコード」を掲載

候補者が選挙運動用ポスターを貼るための「公営ポスター掲示場」に、市長選挙などの情報へのアクセスが容易な「QRコード」を掲載します。

- ◆場所：市内494か所の公営ポスター掲示場
- ◆リンク先：本市ホームページ内「選挙」のページ

4. 選挙公報と模擬投票用紙を希望する高校などに配布

高校などでの主権者教育に役立ててもらうため、今回初めて、選挙公報と模擬投票用紙を希望する学校に配布します。なお、選挙公報は今回の市長選挙において各家庭に配布するものと同じものを、模擬投票用紙は今回の市長選挙の投票用紙と同じ材質のものを、それぞれ配布します。

- ◆対象：市内の高等学校および支援学校11カ所のうち、希望する学校



【お問合せ先】

豊中市選挙管理委員会事務局（第二庁舎3階）

[担当] 大崎、久住 TEL 06-6858-2480

